2026 年 11 月 5 日

各　　位

会 社 名　株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　野　崎　秀　則
（東証スタンダード市場・コード番号２４９８）
問合せ先　取締役統括本部長　橘　　義　規
ＴＥＬ　０３－６３１１－６６４１

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
「「日本地下水学会 2026 年秋季講演会」で、3 件の発表
―地下水研究者による成果発表・討論の場―

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションに据える、当社グループの主要な事業会社である株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下：ATK）では、バリューの一つである「品質・技術力で勝る会社になる」の実現に向け、研究開発や技術力の向上に取り組んでいます。

2026 年 10 月 29 日（木）～31 日（土）に開催された「日本地下水学会 2026 年秋季講演会（広島大会）」（主催：公益社団法人日本地下水学会）において、ATK 社員が地下水調査・観測・解析に関する 3 件の研究成果を発表しました。

■谷口知寛（電力中央研究所へ出向中）
セッション 1. 調査
「岩盤亀裂の構造的特徴と湧水出現傾向の関係（孔間トレーサー試験の対象亀裂選定に向けた切羽観察データの活用）」
概要：本研究は物質移行経路となる岩盤亀裂を抽出するため、トンネル切羽の観察記録から亀裂方位情報を統計処理し、湧水記録と比較した。その結果、水みちとなりうる亀裂をグループ化することが可能となった。今後、トレーサー試験など岩盤亀裂を対象とした試験への適用が期待される。

■後藤和幸
セッション 1. 調査
「光給電システムを使用した斜面の土壌水分量と 傾斜角度同時観測装置の開発（その 2）」
概要：令和 5 年度に発表した「防災野外観測向け光給電システム」の改良結果（40km の長距離給電、子機の複数化、センサの多様化）および実証試験の成果により、商用電源や通信網のない山間部・地下空間でも、屋内の親機からの遠隔観測の優位性が確認できた。

■花川和宏
セッション 4. 「シミュレーション２」
「数値積分に基づく揚水・スラグ試験の標準曲線の高精度計算手法の開発」
概要：本研究は非定常法解析手法である曲線一致法を対象に、標準曲線の高精度計算手法を検討したものである。本研究により、標準曲線を任意パラメータでの高精度出力が可能となった。今後、複数理論の比較による解析効率化や自動曲線一致法の基盤技術としての応用が期待される。

ATK は今後も、地下水に関する調査・観測・解析技術の研究開発を推進するとともに、学会発表などを通じて技術成果を積極的に発信し、社会インフラの維持・発展に貢献してまいります。

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
TEL:03-5246-4150
URL: https://www.atk-eng.jp/
総務室 高田